

各位

| | |
|--------|----------------|
| 会社名 | 石油資源開発株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 岡田 秀一 |
| コード番号 | 1662 (東証第一部) |
| 問合先責任者 | 広報 IR 部長 平田 一成 |
| 電話番号 | 03-6268-7110 |

相馬 LNG 基地の試運転開始について

石油資源開発株式会社 (JAPEX、以下「当社」) は、2013年11月に最終投資決定を実施し(*1)、2014年11月から当社が建設作業等を進めていた(*2)相馬 LNG 基地 (福島県相馬郡新地町、相馬港4号埠頭) について、本年11月30日に LNG に係る当基地内の設備 (以下「基地設備」) が完成したことを受け、2018年3月の操業開始に向けた試運転を12月1日に開始しましたので、お知らせします。

相馬 LNG 基地は、国内最大級の23万キロリットル地上式 LNG (液化天然ガス) タンク、外航船および内航船バース、LNG 気化設備、LNG 出荷施設などを擁する、大型 LNG 基地です。当基地は、海外から LNG を受け入れ、LNG を気化したガスを本年11月1日より供用を開始した相馬・岩沼間ガスパイプライン(*3) (福島県相馬郡新地町～宮城県岩沼市、以下「相馬岩沼ライン」) 経由で新潟・仙台間ガスパイプライン (新潟県北蒲原郡聖籠町～宮城県仙台市) へ送出するほか、ローリーや内航船により LNG を液体のまま出荷するサテライト供給の拠点となります。当基地の操業開始後は、日本海側と太平洋側をつなぐ当社天然ガスパイプラインネットワークの供給安定性、ならびに当社のパイプライン沿線ならびに基地周辺における天然ガス・LNG 供給力の、さらなる向上を実現します。

試運転期間中は、基地設備ならびに相馬岩沼ラインや LNG ローリー、内航船などが連携した稼動確認、ならびに、操業開始に向けた各種法定手続きや準備作業等を進めていきます。なお、12月6日に LNG 船第一船が相馬港へ入港し、LNG を当基地へ受け入れる予定です(*4)。

また、当社が出資する福島ガス発電株式会社 (FGP) が2016年10月に投資を決定した、当基地への23万キロリットル級地上式 LNG タンク (以下「2号タンク」) 建設と LNG 気化設備増設(*5) (以下「二期工事」) については、当社がその建設・運用管理を FGP より受託しています。二期工事は、本年4月に2号タンクの建設を開始しており、LNG 気化設備の増設は2018年春に開始する予定です。なお、二期工事で建設・増設する設備は、当基地隣接地で本年10月に着工した FGP の「福島天然ガス発電所」の商業運転開始 (予定) にあわせ、2020年春に操業を開始する予定です。

相馬 LNG 基地の概要については、別紙を参照ください。

当基地は、東日本大震災復興特別区域法にもとづく復興推進計画の認定を受けるとともに、エネルギー港湾制度の適用による港湾整備の促進において、国ならびに福島県の支援を受けています。また、福島県浜通り地域における産業基盤の再構築や新たなまちづくりを進めるため、政府ならびに福島県が推進する「福島イノベーションコースト構想」における、エネルギー関連産業の集積を目指すための主要プロジェクトのひとつに位置づけられています。

当社は、相馬 LNG 基地を起点とする当社国内天然ガス供給ネットワークの拡大、ならびに FGP が推進する相馬港での天然ガス火力発電事業への参画を通じ、周辺地域の発展への貢献、また、当社の収益基盤である天然ガス事業をいっそう強固にするとともに、天然ガス周辺分野への事業拡大による、「E&P を軸とする総合エネルギー企業への転換」を目指していきます。

本件の 2018（平成 30）年 3 月期通期連結業績への影響は軽微です。また、本件の 2018（平成 30）年 3 月期以降の当社連結業績への影響については、都度適切に開示します。

以上

(注)

- *1: 2013 年 11 月 27 日当社公表資料「相馬 LNG 受入基地ならびに接続パイプラインの建設事業に関する最終投資決定について」参照
- *2: 2014 年 11 月 13 日当社公表資料「相馬 LNG 基地の建設工事着工について」参照
- *3: 2017 年 11 月 1 日当社公表資料「相馬・岩沼間ガスパイプラインの供用開始について」参照
- *4: 天候等の理由により、入港日が変更になる場合があります
- *5: 2016 年 10 月 11 日当社公表資料「福島県・相馬港における天然ガス火力発電事業の事業化決定ならびに本事業への新たなパートナーの参画について」参照

(別紙)

1. 相馬 LNG 基地概要
2. 相馬 LNG 基地に係るこれまでの経緯と今後の予定

別紙

1. 相馬 LNG 基地概要

| | |
|------|--|
| 名称 | 相馬 LNG 基地 |
| 所在地 | 福島県相馬郡新地町（相馬港 4 号埠頭） |
| 適用法規 | ガス事業法 |
| 敷地面積 | 約 20 ヘクタール |
| 受入設備 | LNG 外航船バース：1 式（12.5 万～21 万 m ³ 級） LPG 内航船バース：1 式（2,500 m ³ 級） ※LNG 内航船出荷と兼用 |
| 貯蔵設備 | LNG タンク：地上式 PC*型 23 万キロリットル×1 基 LPG タンク：球形 1,000 トン×2 基 |
| 気化設備 | 送出能力：7.0 メガパスカル、75 トン/h×2 基 ※1 基はバックアップ |
| 出荷設備 | LNG 内航船出荷：最大 4,800 m ³ 級 LNG ローリー出荷：30 トン/h ×5 レーン |

* PC(Prestressed Concrete)とは、あらかじめ応力を加えたコンクリート材で、引張応力によるひび割れを防ぐことが可能であることから、地上式 LNG タンクに多く用いられている

※上記設備のほか、福島ガス発電株式会社 (FGP) による二期工事 (23 万キロリットル級地上式 PC 型 LNG タンク 1 基 (2 号タンク) と LNG 気化設備の増設) を 2017 年 4 月に開始しており、FGP の福島天然ガス発電所の商業運転開始に合わせ、2020 年春に操業開始予定



(相馬 LNG 基地全景：2017 年 11 月撮影)

2. 相馬 LNG 基地に係るこれまでの経緯と今後の予定

- ・ 2013 年 11 月 27 日 : 相馬 LNG 基地ならびに接続パイプライン建設に係る最終投資決定
- ・ 2014 年 11 月 13 日 : 相馬 LNG 基地起工式 (着工)
- ・ 2015 年 10 月 : 相馬岩沼ライン建設工事開始
- ・ 2016 年 10 月 11 日 : FGP による福島天然ガス発電所ならびに相馬 LNG 基地二期工事 (2 号タンクおよび増設気化設備) 投資決定
- ・ 2017 年 4 月 28 日 : 相馬 LNG 基地二期工事 (2 号タンク) 着工
- ・ 2017 年 8 月末 : 相馬岩沼ラインパイプライン全区間敷設完了
- ・ 2017 年 11 月 1 日 : 相馬岩沼ライン供用開始
- ・ 2017 年 11 月 30 日 : 相馬 LNG 基地設備完成
- ・ 2017 年 12 月 1 日 : 相馬 LNG 基地試運転開始
- ・ 2017 年 12 月 6 日 : LNG 船第 1 船相馬港入港 (予定)
- ・ 2018 年 3 月 : 相馬 LNG 基地操業開始 (予定)
- ・ 2018 年 4 月 : 相馬 LNG 基地二期工事 (増設気化設備) 着工 (予定)
- ・ 2019 年 12 月 : 相馬 LNG 基地二期工事試運転開始 (予定)
- ・ 2020 年春 : 相馬 LNG 基地二期工事設備操業開始 (予定)

###